

# プレーカー配線チェッカー SEC-970シリーズ

## 取扱説明書

ご購入いただきましてまことにありがとうございます。  
ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

## 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。



### 警告

この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します。

- 死線用受信器を使用する場合は、絶対に活線に接続しないでください。  
感電・破損・発火・発熱の恐れがあります。
- ご使用前に検電機能、プレーカー探査機能について既知の電源で確認してください。
- 検電 / プレーカー探査の際は周囲の状況に十分注意してください。感電の恐れがあります。
- 本器を無断で改造したり分解したりしないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。



### 注意

この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します。

- 使用を開始する前に本器の外観構造等に異常がないかを点検してください。
- プレーカー配線探査終了後は、速やかに送信器のプラグを抜いてください。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。



### 使用上のご注意

- 死線用受信器のご使用前に、送信器を接続して正常に動作することを確認してください。
- 死線用受信器の電源を入れる時、テスター(赤・黒)をショートしないでください。  
故障の原因になります。
- 被覆検電機能において接地されていない金属管・ケース等は誘導電圧で誤動作することがあります。
- 保管する場合は直射日光の当たらない乾燥したところに保管してください。
- 本説明書に記載の用途以外には使用しないでください。
- 子供に触れさせないでください。

## 特長

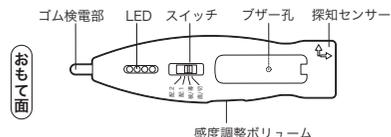
- 活線状態・死線状態\*でコンセントとプレーカーの配線経路を探知できる(※死線用受信器使用時)
- 5つの機能(活線用受信器使用時)
  - ① 直接検電: コンセント等の充電部に受信器のゴム検電部を直接接触させて検電ができる
  - ② 被覆検電: ケーブルの被覆の上に受信器のゴム検電部を当てるだけで検電ができる
  - ③ 導通: 導通チェックができる
  - ④ 極性: 電池の+、-の極性チェックができる
  - ⑤ プレーカー探査機能: 送信器を併用することにより配線経路の探知ができる(100V / 200V 対応)
- 音と光でわかりやすい
- 感度調整ボリューム付(活線用受信器のみ)

# セット内容

## 活線・死線 両対応 フルセット(SEC-970S)

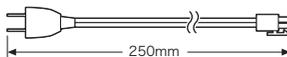
### 活線対応セット(SEC-970)

#### ●活線用受信器



電池カバー 端子  
カバーを外すと  
電池交換ができます

#### ●ACプラグ付コード

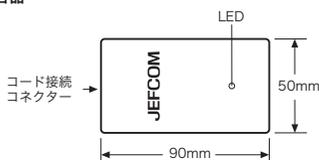


#### ●クリップ付コード



#### ●電池(リチウム電池 CR2032×1/動作確認用付属)

#### ●送信器



コード接続  
コネクタ

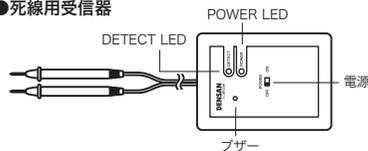
#### ●仕様

|        |                          |                  |                                    |
|--------|--------------------------|------------------|------------------------------------|
| 活線用受信器 | 検電機能                     | 使用電圧範囲           | 直接検電・被覆検電 AC80V~300V 50/60Hz       |
|        |                          | 付加機能             | 導通チェック 10MΩ以下<br>DC極性チェック 1.2V~24V |
|        |                          | 動作表示             | 赤色LED点灯 プザー鳴動                      |
|        |                          | 絶縁耐力             | AC2000V 1分間(ゴム検電部~クリップ間)           |
|        |                          | 信号出力形式           | 信号電流による磁束検出                        |
|        | ブレーカー<br>探査機能            | 出力               | 4点のLEDランプ点灯表示、プザー鳴動                |
|        | 探査感度                     | 感度調整ボリューム        |                                    |
|        | 動作距離                     | 300m             |                                    |
| 使用電池   | リチウム電池 CR2032×1(動作確認用付属) |                  |                                    |
| 寸法     |                          | 142×35×19.5mm    |                                    |
| 送信器    | 使用電圧範囲                   | DC/AC 15V ~ 264V |                                    |
|        | 探査信号周波数                  | 5kHz             |                                    |
| 寸法     |                          | 90×50×31mm       |                                    |
| 共通仕様   | 使用温度範囲                   | 0℃~40℃(80%RH以下)  |                                    |



### 死線用受信器(SEC-970R) ※SEC-960(送信器)にも対応します。

#### ●死線用受信器



#### ●電池(単3アルカリ乾電池×2/動作確認用付属)

#### ●仕様

|        |                      |                     |                  |
|--------|----------------------|---------------------|------------------|
| 死線用受信器 | 探査条件                 | 死線専用                |                  |
|        | ブレーカー<br>探査機能        | 出力                  | LEDランプ点灯表示、プザー鳴動 |
|        |                      | 電池交換表示              | POWER LEDが点滅     |
|        |                      | 動作距離                | 300m             |
| 使用電池   | 単3アルカリ乾電池×2(動作確認用付属) |                     |                  |
| 寸法     |                      | 105×75×26.4mm(本体のみ) |                  |
| 使用温度範囲 |                      | 0℃~40℃(80%RH以下)     |                  |

# ご使用前の確認

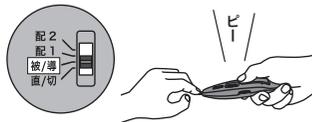
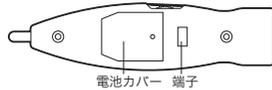
## 活線用受信器 (SEC-970)

### 1. 動作確認

- ① 受信器のスイッチを **被/導** にして、端子を指で触れながら、もう一方の手の指でゴム検電部をを触れると、1 個の LED が発光、ブザーが「ピー」と鳴ります。この時、動作しない場合、発光・発音が弱い場合は電池を交換してください。
- ② 既知電源で動作確認を行い、感度を確認してから使用してください。
- ③ オートパワーオフ機能で無操作 約 3 分で自動的に電源が切れます。
- ④ ご使用後はスイッチを **直/切** にしてください。

**注意** 温湿度の状態により、反応しにくい場合があります。

活線用受信器 (SEC-970) / うら面

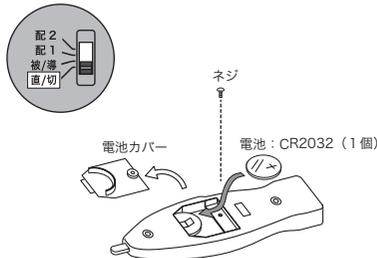


### 2. 電池交換方法

使用電池：コイン形リチウム電池 CR2032×1

- ① スイッチを **切** にします。
- ② ネジを外し、電池カバーを外します。
- ③ 電池を外し、新しい電池と交換します。  
電池を装着する時は+/-の間違いがないようにしてください。
- ④ 電池カバーを取付けます。

**注意** 付属の電池は動作確認用です。  
ご使用時は新しい電池をご用意ください。



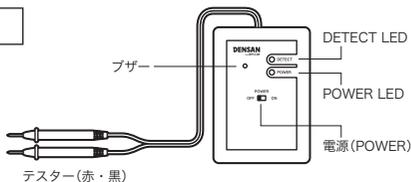
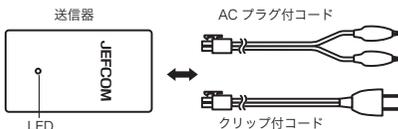
## 死線用受信器 (SEC-970R)

### 1. 動作確認

- ① AC プラグ付コード、又はクリップ付コードを送信器に接続します。
- ② 死線用受信器の **電源 (POWER)** を **ON** にします。  
死線用受信器の電源を入れる時、テスター (赤・黒) をショートしないでください。故障の原因になります。
- ③ 死線用受信器のテスター (赤・黒) を送信器のコードに 1 対 1 で接続します。
- ④ 送信器の LED の点滅に同期して、死線用受信器の **DETECT LED** が点滅し、ブザーが鳴動することを確認します。  
**POWER LED** が点滅する場合は、電池を交換してください。
- ⑤ 死線用受信器の **電源 (POWER)** を **OFF** にします。

**注意** 温湿度の状態により、反応しにくい場合があります。

POWER  
OFF  ON



### 2. 電池交換方法

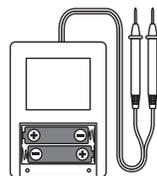
使用電池：単 3 アルカリ乾電池 ×2

- ① **電源 (POWER)** を **OFF** にします。
- ② 裏面の電池カバーを外します。
- ③ 電池を外し、新しい電池と交換します。  
電池を装着する時は+/-の間違いがないようにしてください。
- ④ 電池カバーを取付けます。

**注意** 付属の電池は動作確認用です。  
ご使用時は新しい電池をご用意ください。

死線用受信器 (うら面)

POWER  
OFF  ON



# 検電機能 の使用方法

5つの検電機能があり、活線用受信器を単体で使用します。

## 使用する製品

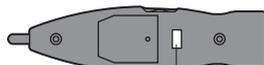
### ●活線用受信器(SEC-970)

検電機能で1つ点灯 LED スイッチ

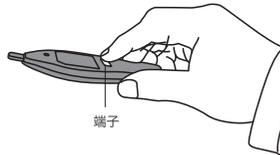
ゴム検電部



受信器  
うら



端子



端子

### △ 注意

検電機能は活線用受信器のみ使用します。

検電機能は活線用受信器の端子に触れながら使用します。

検電機能で動作するLEDは、受信器先端部の1個のみです。

## 直接検電 (直接導体に触れて検電する場合)

- ① スイッチを **直/切** にします。
- ② **端子に触れながら** ゴム検電部をコンセント等の充電部の端子に直接あてます。
- ③ 非接地側(活線側)の導体に触れた場合は、ブザー連続音・LED連続点灯します。
- ④ 接地側の場合は反応しません。

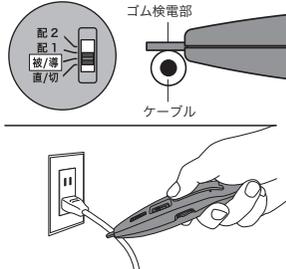


コンセント

配2  
配1  
被/導  
直/切

## 被覆検電 (被覆の上から検電する場合)

- ① スイッチを **被/導** にします。
- ② **端子に触れながら** ゴム検電部の根元をケーブルの被覆にあてます。
- ③ 非接地側(活線側)の導体に触れた場合は、ブザー断続音・LED点滅します。
- ④ 接地側の場合は反応しません。



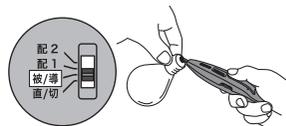
ゴム検電部

ケーブル

配2  
配1  
被/導  
直/切

## 導通チェック

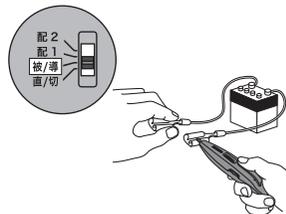
- ① スイッチを **被/導** にします。
- ② **端子に触れながら** 片方の導体に手を触れると共に、もう一方の導体にゴム検電部をあてます。
- ③ 導通している場合は、ブザー連続音・LED連続点灯します。



配2  
配1  
被/導  
直/切

## 直流電源の極性チェック

- ① スイッチを **被/導** にします。
- ② **端子に触れながら** 片方の導体に手を触れると共に、もう一方の導体にゴム検電部をあてます。
- ③ ゴム検電部を当てた部分が(+)極性の場合は、ブザー連続音・LED連続点灯します。(-)極性の場合は反応しません。

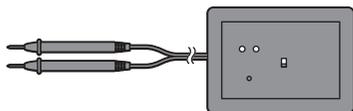


△ 注意 DC極性チェックの動作電圧は、1.2 ~ 24Vです。

死線状態において、そのコンセントに対応するブレーカーを探したい場合に送信器を併用して使用します。

## 使用する製品

●死線用受信器(SEC-970R)



●送信器



●ACプラグ付コード



●クリップ付コード



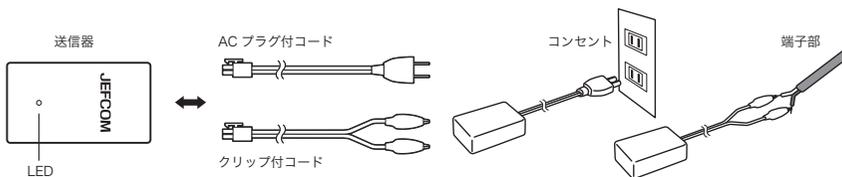
## 注意

配線経路が死線状態であることを確認してください。  
誤って活線に接続した場合、製品が破損します。

## 送信器側

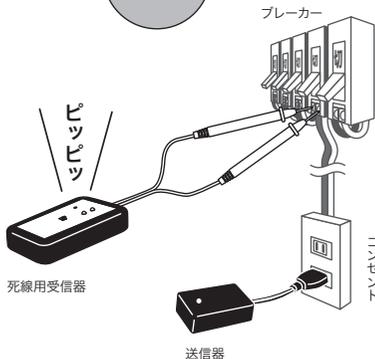
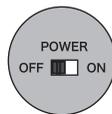
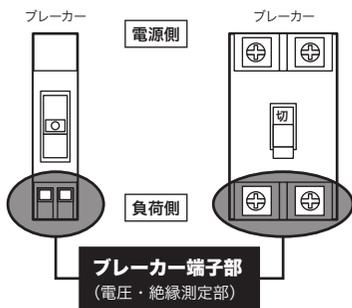
送信器にクリップ付コード、又はACプラグ付コードを接続し、探知したい活線状態のコンセント・端子部に接続します。

注意 LEDが点滅する場合は活線です。死線用受信器は使用できません。



## 受信器側

- ① 電源(POWER)をONにします。
- ② ブレーカー端子部(下図参照)に死線用受信器を順次当てます。
- ③ DETECT LEDが点滅し、ブザーがビープと鳴るのが、該当するブレーカーです。



活線状態において、そのコンセントに対応するブレーカーを探したい場合に送信器を併用して使用します。

## 使用する製品

●活線用受信器(SEC-970)



●送信器



●ACプラグ付コード

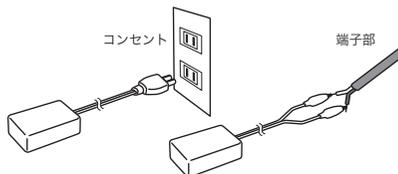
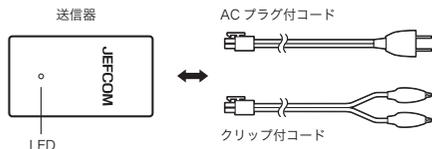


●クリップ付コード



## 送信器側

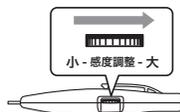
- ① 送信器にクリップ付コード、又は AC プラグ付コードを接続し、探知したい活線状態のコンセント・端子部に接続します。
- ② 電源が入ると送信器のLEDが点滅します。



## 受信器側

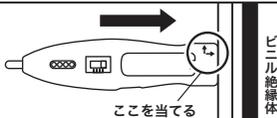
### 1. ブレーカー接続電線での探査

- ① スイッチを **配2** にします。
- ② **感度調整ボリューム** を **大** にします。
- ③ 分電盤の扉を開け、ブレーカーに接続されている電線に受信器の探知センサー部を順次当ててください。
- ④ 複数個のブレーカーが反応する場合は、**感度調整ボリューム** を **小** の方に少し回して再度③の操作を行ってください。
- ⑤ ③と④の操作を繰り返し行います。
- ⑥ LEDの点灯個数が多く、断続音の大きいものが該当するブレーカーです。



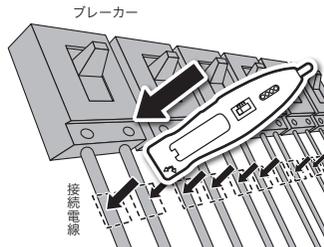
### ⚠ 注意

受信器の矢印部分を浮かせないようにして電線に垂直に当ててください。



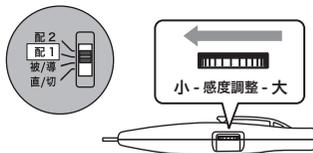
ここを当てる

受信器の探知センサー部を VVF ケーブルの **ビニル絶縁体** に当ててください。**「ビニルシース」** に当てた場合は感度が悪くなります。



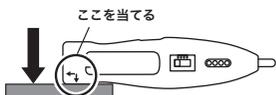
## 2. ブレーカー表面での探査

- ① スイッチを **配1** にします。
- ② **感度調整ボリューム** を **小** にします。
- ③ 分電盤の扉を開け、ブレーカーのハンドル部に受信器を横にして、探知センサー部を順次当ててください。
- ④ 複数のブレーカーが反応する場合は、**感度調整ボリューム** を **大** の方に少し回して再度③の操作を行ってください。
- ⑤ ③と④の操作を繰り返し行います。
- ⑥ LEDの点灯個数が多く、断続音の大きいものが該当するブレーカーです。



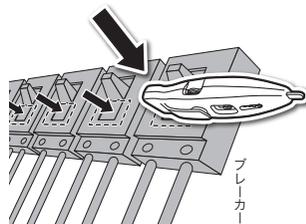
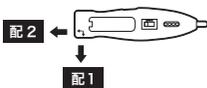
### ⚠ 注意

受信器を横に寝かせて矢印部分を浮かせないようにしてブレーカーに当ててください。



### ⚠ 注意

受信器を横に寝かせた状態で反応しない場合は、受信器をブレーカーに直角に当てて、スライドスイッチ **配2** で探査を行ってください。

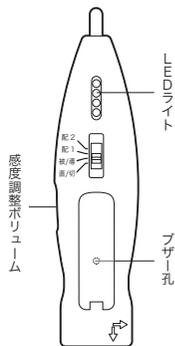


## 判定について

- ① 判定はLEDライト部の点灯個数が最も多く、断続音の大きい位置のブレーカーが該当するブレーカーです。  
この時、ビッ・ビッというブザー断続音も判定の参考になります。
- ② LEDの点灯個数で判定が付かない場合は、**感度調整ボリューム** を回してLEDの点灯個数による差が判るように感度を調整してください。

### ⚠ 注意

- 電源ラインにノイズの発生する機器が接続されている場合、LEDランプが点灯したり、ブザー(ビービー音等)が鳴ります。探査信号の周期的な断続音(1秒間に約2回)に注意しながら判定してください。
- 探査信号よりも大きいノイズが乗っている場合は探知できません。
- 高効率型蛍光灯などの入力側に「コンデンサー」の付いた機器が付加されている場合は、ブレーカーの特定ができない場合があります。



## 故障かな? と思ったら

故障かな?と思ったら、お問い合わせや修理を依頼される前に以下の点をご確認ください。

- 電池の接触不良はありませんか
- 電池の極性(+、-)は正しいですか
- 電池が消耗していませんか
- 製品本体に損傷がありませんか
- 製品本体、または被測定物の置かれている環境に強いノイズがありませんか
- 操作手順が取扱説明書の使用方法通りですか

以上の点を確認しても正常に作動できない場合、販売店にご連絡ください。

## 保証について

保証期間：購入日より1年間（ただし保証期間内でも次の場合は有償修理となります。）

- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変
- 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用上の誤り、保管方法が原因で生じた故障、異常電圧による故障
- 分解・改造での破損
- お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障
- その他当社の責任とみなされない故障
- お買い上げ年月日の証明できる伝票等のない場合



**ジェフコム株式会社**

営業本部

〒579-8014

東大阪市中石切町3-13-16